

弦楽四重奏とフルート、 現代の五人囃子が織りなす 素敵な音色をお楽しみください



ヴァイオリン
長坂拓己

島根県出身。八歳よりヴァイオリンを始める。これまでにヴァイオリンを加納佑春、芦原充、森悠子、アナスタシア・チェヴォタリョワ、トカレワ・ナデージュダ、ケメルマン・ディアナ、ファルバイ・アツティラの各氏に師事。くらしき作陽大学モスクワ音楽院特別演奏コースを修了の後ハンガリー国立リストフェレンツ音楽院にて研鑽を積む。岡山フィルハーモニック管弦楽団、ドナウ交響楽団（ハンガリー）、多数のオーケストラとソリストとして共演。第1回ドナウ国際コンクール（ハンガリー）ヴァイオリン部門二位。岡山フィルハーモニック管弦楽団アシスタントコンサートマスター。くらしき作陽大学音楽学部非常勤講師、山陽学園高等学校ミュージックコース非常勤講師を務める。



ヴァイオリン
田中郁也

広島音楽高等学校卒業。くらしき作陽大学音楽学部にて特待生として入学。在学中ブラハ交響楽団京都公演に出演。卒業後、北イタリア音楽セミナー受講。ヴェルディ音楽院祝祭管弦楽団のメンバーとしてオペラ「椿姫」ミラノ公演に出演。フランス fugato academy festival に参加。弓室内合奏団とパッハヴァイオリン協奏曲第2番、福山楽友協会管弦楽団とサンサーンス第3番、メンデルスゾーンヴァイオリン協奏曲、日本演奏連盟「新進演奏家育成プロジェクト」広島交響楽団とスコットランド幻想曲を共演。現在、岡山フィルハーモニック管弦楽団アシスタントコンサートマスター。



ヴィオラ
中川 敏史

京都市立芸術大学音楽学部卒業、同大学院修士課程修了。全日本学生音楽コンクール大阪大会高校の部入選。第4回熊楠の里音楽コンクールFクラス第1位。大学から助成金を得てドイツ・プレーメン芸術大学に派遣留学。京都・若い作曲家による連続作品展、日独現代音楽演奏会等に出演。第21回ジョルジェ・エネスク国際音楽祭にハーモニクス室内管弦楽団のメンバーとして出演。ヴァイオリンを稲垣美奈子、亀田美佐子、景山誠治、和波孝禧、久合田緑、Thomas Klugの各氏に、バロックヴァイオリンを伊左治道生氏に、ヴィオラを永藤照夫氏に師事。岡山フィルハーモニック管弦楽団ヴィオラ奏者。京都バロック楽器アンサンブル、バロックアンサンブル「ラ・ルーナ」、ザクセン・カンマー・オーケストラ各メンバー。



チェロ
江島直之

桐朋学園大学卒業、同大学研究科修了。2013年桐朋オーケストラ・アカデミー在籍。この間にアルゲリッチ音楽祭、サイトウキネンフェスティバルin松本、PMFオーケストラに選抜され出演。第8回横浜国際音楽コンクール弦楽部門第2位。2015年に渡独しベルリンにて研鑽を積む。チェロを森純子、倉田澄子、菊地知也、岩崎洸、Dmitry Feygin、Laszlo Fenyoの各氏に、室内楽を江島幹雄、北本秀樹、徳永二男、小森谷泉、三上桂子の各氏に師事する。現在、ライゼ・カンマー・オーケストラミュージックアドバイザー、アンサンブル早島ミュージックアドバイザー、倉敷ジュニア・フィルハーモニーオーケストラ講師、くらしき作陽大学音楽学部特別講師。



フルート
諸田大輔

東京藝術大学卒。2001年同大学院修士課程を修了し博士課程へ進む。2003年より休学し、ドイツへ留学。2006年ドレスデン国立音楽大学アウフバウ課程修了及び演奏試験にて最優等の成績を得てドイツ国家演奏家資格KEを取得。2007年東京藝術大学にて博士(音楽)取得。1997・99年の日本フルートコンベンションコンクール他、入賞・入選多数。2018年第53回ドイツ・マルクノイキルヒェン国際器楽コンクールのフルート部門の審査員を務めた。現在、岡山大学の准教授として、演奏活動・指導・研究を行っている。

INFORMATION

- 発熱・せき等の風邪症状がある場合は、ご来館を自粛ください。
- コロナウイルス等感染防止の為、ご来場の際はマスクの着用（咳エチケット）にご協力をお願いいたします。
- 液体せっけんによるこまめな手洗いをお願いいたします。アルコール消毒液も設置しておりますのでご利用ください。
- 密集しやすい場所では、間隔を空けてお並びください。
- チケット購入時には、来場者（代表者）の氏名及び、緊急連絡先をご記入いただいております。